

令和 8 年 大町市議会 9 月定例会
市政に対する一般質問通告並びに質問要旨、順位
(1 日目 5 名、2 日目 5 名、3 日目 3 名予定)

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
1	1 番 西 澤 和 保 [一問一答]	1. 柳原新体制の政策と方針について (1) 第 6 次総合計画を見据えた市政方針を問う。 (2) 地域高規格道路と地域基盤強化に向けた将来像を問う。 (3) 積極的な市政運営に向けた取組みと職員の意識改革を問う。 【背景・論点】 柳原新体制となり、今後の市政運営の方針について、様々な観点から質問を行う。 【ねらい】 第 6 次総合計画策定における、新市長の市政の重点施策や、政策の柱はどのようなものになるのか。 財務状況を見据えた新たな体制での市政運営や、新体制下での職員の意識改革のあり方についても問う。
2	9 番 栗 林 陽 一 [一問一答]	1. 自衛官募集に伴う住民情報の提供と予備自衛官等兼業特例法への対応について (1) 自衛官募集に伴う住民基本台帳情報提供の現状は。 (2) 予備自衛官等兼業特例法と職員の人事管理をどのように考えているか。 (3) 勤務時間中の招集と市民サービス・災害対応をどのように考えているか。 (4) 国の制度に対する市の責任と市民への説明は。 【背景・論点】 自衛官募集に伴う住民情報の提供や、予備自衛官等兼業特例法の施行により、自治体の個人情報管理や職員の勤務体制にも関わる制度が進められている。 国の制度を実施する中でも、市民の個人情報と意思を尊重し、市民サービスや災害対応に支障を生じさせないため、大町市としてどのように運用するのが論点となる。 【ねらい】 市民の個人情報と意思を尊重し、市民サービスや災害対応に支障を生じさせないための適切な制度運用を求める。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
2	9 番 栗 林 陽 一 [一問一答]	2. 市政運営について (1) 中学校給食費無償化の実現時期と財源確保をどう進めるか。 (2) 子どもの医療費完全無償化の実現時期と財源確保をどう進めるか。 (3) 松糸道路を「命の道」とするならば、木崎湖以北の整備を優先すべきと考える。市長の見解と国・県への要請強化の考えを伺う。 (4) 北アルプス国際芸術祭のこれまでの公費投入の効果を検証した上で、見直す考えはあるのか。 【背景・論点】 公約実現に向けた財源確保、県への支援要請、道路整備の優先順位、公費負担に対する事業効果の検証が必要。 【ねらい】 市民の暮らしを支える公約の早期実現と、限られた財源を効果的に活用する市政運営を求める。
3	11 番 小 澤 悟 [一問一答]	1. 小中学校における水泳教育の重要性について (1) 各小中学校のプールが無くなっている今、どのように水泳教育を行っていくのか。 【背景・論点】 警察庁が発表した直近2025年の全国の年間水難事故件数は1,426件。そのうち、死者・行方不明者760人。毎年同じくらい水難事故が起きている中、学校教育で「単に泳げるようになる」というスポーツの枠を超え、「自分で守る力を育てる（生存教育）」という原点をどのように行っていくのか。 【ねらい】 ・夏休み中のプールはどこで行うのか問う。 ・もし全てのプールが無くなったときは、どのようにして水泳教育を行うのか、当市の考えを問う。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
3	11番 小澤 悟 [一問一答]	2. 公民館使用料減免に対する市民の意見はどのようなものか (1) 公共施設の原点である、福祉の増進・共有の場の考えをもう一度問う。
		【背景・論点】 市民が公民館を使用するうえでの適正な減免率はどのくらいか。
		【ねらい】 市民説明会でいただいた意見をどのように活かすのかを問う。
4	4番 堀 堅 一 [一問一答]	1. 新市長の重点施策とは何か (1) 市長就任あいさつにおける「新しい挑戦」、「人口減少についての総合的な対策」とは何かを問う。
		【背景・論点】 絶対的に子供の数が減少している日本で、自治体間競争に勝ち抜けるとは思えない。
		【ねらい】 今後、人口減少対策を進めた際に、今の市民は平和で安心して幸せに暮らせるのか。
		2. ハラスメントや不祥事について新体制下での思いを問う (1) ハラスメントや不祥事撲滅に向けての提案
		【背景・論点】 具体的事例に対応できていない。市のハラスメント対策指針を機能させるための人づくりを進めるべき。
		【ねらい】 庁舎内だけでなく、市民からの情報も幅広く集め、全職員で共有する仕組みを作ってもらいたい。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
4	4 番 堀 堅 一 [一問一答]	3. 市たばこ税収入 1 億 7 千万円について問う (1) 分煙対策としての喫煙所設置を求める。
		【背景・論点】 喫煙マナーも一定程度向上してきている。市の施設でも、特に文化会館・市庁舎での要望が多い。
		【ねらい】 国のたばこ税収入は 2 兆円にもなる。そのため、国の公共施設における喫煙所設置に対する補助金を活用した分煙対策をするべきだ。
5	1 5 番 高 橋 正 [一問一答]	1. 新市長の政策の一端が知りたい (1) 市長就任直後であり、大きな観点から大町市が最も力を入れるべき問題を 5 点ほど挙げていただき、市長としてどのように対応しようと考えているか。
		【背景・論点】 市長選が終わったばかりである。市長の考え方をお聞きする。
		【ねらい】 新市長は初めての議会（本会議）であり、まずはお互いのスタンスを分かり合い、今後ともフラクな議論の場を作り上げていきたい。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
6	6 番 中 村 直 人 [一問一答]	1. 山岳文化都市としての全国発信戦略について (1) 山とまちを人が回遊する取組みは。 (2) 高まる山岳・アウトドア需要への受け入れ体制は。 (3) 山岳文化都市としての取組み・発信は。 【背景・論点】 ・白馬方面から仁科三湖を訪れる人が増える中で、その流れを市街地、温泉郷、商店街、宿泊等へつなげる仕組みが必要である。また、当市の自然資源を大町市のイメージへ結びつけることも重要である。 ・「まほろば商店街」等、まちと山をつなぎ、「北アルプスの玄関口」としての大町を復権しようとする動きが生まれている。 ・大町市は広い山岳エリアを抱え、登山道整備や安全対策等にも支出しているが、大町が山岳都市として十分に認知されているとは言えない状況がある。 ・登山者向け駐車場、二次交通、旧大町北高校、36 ラウンジ、県山岳総合センター、国スポ関連施設、アウトドア発信等を含め、横断的に課題を捉える。 ・国スポや芸術祭等に向けても、文化都市としての拠点形成、市民参加・地域との協働、アーティスト・イン・レジデンスなどの機会を通じた文化発信について整理する必要がある。 【ねらい】 民間の動き、山岳・アウトドア需要への受け入れ体制、市街地回遊、拠点形成、文化発信を一体で捉え、山もまちも潤う「山岳文化都市」として全国的認知を得るための方向性を確認する。 2. 清冽な水と環境を活かした食のブランドづくりについて (1) 学校給食・地域農業・農福連携を食のブランドへ。 (2) オーガニックヴィレッジ宣言を流通・移住施策等へ活かすには。 【背景・論点】 ・大町の農産物は、北アルプスの清冽な水と環境に支えられた地域資源であり、ブランド化、流通、販路整備へつなげる余地がある。 ・学校給食への地元農産物、有機米、無農薬野菜等の導入や農福連携は、子どもたちに大町の食の価値を伝える入口となる。 ・オーガニックヴィレッジ宣言は理念にとどめず、給食、農産物流通、冷蔵保管、堆肥センター活用、資源循環等を進める制度設計として検討できる。 ・食と農を、子育て、教育、移住定住の魅力としてどう組み上げるかが課題である。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
6	6 番 中 村 直 人 [一問一答]	【ねらい】 学校給食、地域農業、農福連携、農産物流通、資源循環、子育て・移住施策をつなぎ、清冽な水と環境で育つ食を大町ブランドとして育てる方針を確認する。
		3. 自然資本を活かした市政ビジョンについて (1) 山・水・農・食で大町ブランドを全国区へ。 (2) 関係人口・移住定住、市政ビジョンに自然資本を活かすには。
		【背景・論点】 ・山好き、アウトドア層、食や農に関心のある若い世代に、大町市の価値が十分届いていない面がある。 ・山岳観光、仁科三湖、水、農産物、食、文化、移住定住は個別施策として扱われがちだが、大町市の強みは、それらが一体となった自然資本にある。 ・自然資本を、観光、農業、教育、文化、関係人口、移住定住、地域経済へ横断的につなげる視点が必要である。 ・市長は県職時代に、ゼロカーボン、総合計画、北アルプス地域振興等に関わってこられた。 ・第6次総合計画等を見据え、自然資本を市政の柱としてどう位置づけるかが論点となる。
		【ねらい】 山・水・農・食・文化を横断的に位置づけ、自然資本をブランド戦略、関係人口、移住定住、新市長の市政ビジョンへつなぐ基本姿勢を確認する。
7	16 番 大 和 幸 久 [一問一答]	1. 柳原新市長の市政運営方針について (1) 牛越市政の課題をどのように認識・検証し、新市政ではどのような見直しをして住民福祉の向上に資するのか。
8	10 番 宮 田 一 男 [一問一答]	1. 防災対策について (1) 被災時の避難所環境は整備されているか。 (2) 住宅耐震化の進捗状況と課題は何か。
		【背景・論点】 全国各地で、災害が頻発する状況下にある。
		【ねらい】 災害への備えが万全か検証する。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
9	7 番 大竹 真千子 [一問一答]	1. 自治会を支える仕組みづくりについて (1) 自治会の構造的な脆弱性を市はどう認識しているか。
		【背景・論点】 全国的な課題でもあるが、当市においても自治会の離脱や加入率の低下が進んでいる。自治会は法的には任意団体であり、他の地域団体と異なり都道府県・全国レベルの上部組織を持たない。また、地域の生活環境の維持管理など様々な役割を担ってきたが、その負担の重さ自体が離脱の一因となっている。新市長が自治会を支える市の役割をどのように考え、支援体制をどう構築していくのかを問う。
		【ねらい】 自治会運営の負担を少しでも軽くすることで、加入継続・新規加入のハードルを下げる。新市長には、自治会を支える市の役割について、自治会側に寄り添った策を講じることを期待したい。
		2. 持続可能な行政運営に向けた取組みについて (1) 市の組織運営や業務効率、職員の人材育成の状況について、第三者の視点から定期的に検証する仕組みは現在あるか。
		【背景・論点】 内部統制や組織風土の改善については、令和5年9月以降、私を含む複数の議員が継続的に取り上げてきた課題である。令和6年の職員対話においても、業務を一人で抱え込む傾向、個人の能力に依存した業務、人事異動による知識の断絶など、構造的な課題が既に抽出されている。その後の進捗を鑑みながら、新市長が組織をどのように率いていく考えか問う。
		【ねらい】 これまで、現場レベルで着手可能な提案に絞って求めてきた。進捗を確認し、新市長・副市長の体制のもとで、庁内の組織運営・組織体制を持続可能な仕組みへと推し進める具体的な方向性を引き出すこと。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
1 0	1 3 番 山本 みゆき [一問一答]	1. 老人保健施設「虹の家」の民間移管に伴う、大町総合病院としての考え方と関わりについて (1) 大町総合病院と広域連合との連携は。 (2) 大町総合病院の収入減への対応は。 (3) 大町総合病院からの医療職派遣は。 (4) 建物・土地の貸与条件と実務上の整理は。 【背景・論点】 老人保健施設は地域の皆さんが存続を強く望む施設であり、北アルプス広域連合では民間への移管を進めている。移管先候補として、「社会福祉法人 北アルプスの風」が選定された。北アルプスの風は多くの福祉事業を行っている一方で、老人保健施設は初めての運営となるため、特に医療職や看護職の確保が課題であり、大町総合病院との協力を強く望んでいる。 【ねらい】 大町総合病院が老人保健施設の存続と民間移管に協力と支援をすること。
1 1	1 2 番 中 牧 盛 登 [一問一答]	1. どうする4校舎の跡利用 (1) なぜ、東小学校だけ市場調査が必要なのか。 (2) 西小学校は、行政利用だけで終わるのか。 (3) 北小学校の跡利用が見えてこないが。 (4) 旧北高跡地全体の絵はいつまでにできるのか。 【背景・論点】 (1) 8年度予算に小学校跡地利活用検討業務委託費500万円が計上されているが、この予算は東小学校だけである。 (2) 北小学校に活用については、うわさ話しか聞こえてこない。 (3) 歴史ある西小学校は、行政利用だけなのか。 (4) 旧北高校跡地は、閉校から10年が経過したが、市は、どうする考えなのか動きが全く見えてこない。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
1 1	1 2 番 中 牧 盛 登 [一問一答]	【ねらい】 (1) 小学校等跡地利用検討委員会の刷新を求めたい。 (2) 4校舎の跡利用の方向性について確認したい。 (3) 議会として、早めの情報提供を求めたい。
1 2	8 番 降 旗 達 也 [一問一答]	1. 柳原市長の市政運営について (1) 柳原市長の目指す大町市のすがたについて問う。 【背景・論点】 選挙時に多くの公約を掲げていたが、その公約の実現へのロードマップ、また公約実現の先にある、市長の目指す大町市のすがたはどのようなものか。 【ねらい】 柳原市長が、市長として市民をどう導いていくのか、どこへ導いていくのか、その先は明るい未来なのか、公約だけでは見えてこない柳原市長の考えを市民の方と共有する。 2. 市の財政について (1) 令和7年度当初予算、決算から見える課題は何か。 【背景・論点】 財政力指数が変わらないにもかかわらず、経常収支比率が上がっている状態。財政の硬直化が進み、新たな行政ニーズや災害に柔軟に対応できなくなっているのか？ 【ねらい】 決算状況などから、新年度予算は市長の考えが反映されたものになっていくのか問う。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
1 3	5 番 太 田 昭 司 [一問一答]	1. 人口減少時代の「豊かさ」を問うまちづくりについて (1) 人口減少が進む中、将来の人口規模を見据えながら、持続可能で住みよいまちをどのようにつくっていくのか。
		【背景・論点】 全国的に人口減少が進む中、各自治体においても将来の人口規模を見据えて公共施設の規模・数・あり方について模索し、具体的な取組みが始まっている。昨今では、いわゆる「スマートシュリンク（賢く縮む）」についての議論も活発になり、人口減少を真正面から捉え、より現実的な議論が行われるようになった。 また、公共施設や事業の縮小に伴い、住民へのサービスまで低下してしまうことも懸念されている。 限られた財源と資源の中で、より効果的な公共サービスをいかに行なっていくか、今が将来のビジョンを描く重要な時と考える。
		【ねらい】 人口減少は決して悲観すべきものではなく、人口規模にあった効果的な事業、サービスを提供していくことができる「チャンス」と捉えるべきである。 そのために、どのようなことに、どんな手順で、優先的に取り組むべきか、大町市の現状と特徴を見据えて、前向きな提言を行いたい。
		2. 「訪れる」まちから「関わり続ける」まちへ ― 関係人口について (1) 市はこれまで、関係人口の増に向け、どのような取組みをおこなってきたか。 【背景・論点】 関係人口の増に向け、大町市では種々の取組みが行われてきた。大町市は、さらに関係人口を増やすことができる可能性を秘めている。大町市には、素晴らしい自然、歴史、文化がある。観光・移住・定住に向けたさまざまなイベント、事業、コンテンツを生み出すための豊富な大町市の資源としての自然、歴史、文化をしっかりと再認識し、磨き上げる取組みが求められている。 そして、「大町市へ訪れたい」、「大町市に関わりたい」と思っただけの人をたくさんつくっていくことが、今後大町市が持続可能なまちであるための重要な取組みと考える。

順位	議席番号 氏 名 [質問形式]	質 問 項 目 及 び 要 旨
1 3	5 番 太 田 昭 司 [一問一答]	【ねらい】 全国のどの自治体も進めている関係人口対策。その中で大町市が選ばれるためには何を行うべきか。 決して、何か新しいことを背伸びして行う必要はないのではないかと。 実は宝は足元にある。大町市の自然・歴史・文化を再認識し、磨き上げることが最優先することで、そこから新たな事業・イベントを起こしていくためのコンテンツも生まれてくる。 そのための前向きな提言を行っていきたい。

令和8年 大町市議会 9月定例会

市政に対する一般質問通告者及び発言順位

質問 順位	会 派 等 名	議 席 番 号	議 員 名	質問形式	抽選 番号	登壇日	持ち 時間	開始時刻	終了時刻
1	個 人	1	西 澤 和 保	[一問一答]		9月2日	(50)	10時00分	10時50分
2	個 人	9	栗 林 陽 一	[一問一答]			(50)	11時05分	11時55分
3	個 人	1 1	小 澤 悟	[一問一答]			(50)	13時00分	13時50分
4	個 人	4	堀 堅 一	[一問一答]	1		(50)	14時05分	14時55分
5	個 人	1 5	高 橋 正	[一問一答]	3		(50)	15時10分	16時00分
6	個 人	6	中 村 直 人	[一問一答]	6	9月3日	(50)	10時00分	10時50分
7	個 人	1 6	大 和 幸 久	[一問一答]	7		(50)	11時05分	11時55分
8	個 人	1 0	宮 田 一 男	[一問一答]	9		(50)	13時00分	13時50分
9	個 人	7	大 竹 真千子	[一問一答]	10		(50)	14時05分	14時55分
10	個 人	1 3	山 本 みゆき	[一問一答]	11		(50)	15時10分	16時00分
11	個 人	1 2	中 牧 盛 登	[一問一答]	13	9月4日	(50)	10時00分	10時50分
12	個 人	8	降 旗 達 也	[一問一答]	14		(50)	11時05分	11時55分
13	個 人	5	太 田 昭 司	[一問一答]	16		(50)	13時00分	13時50分

※①所要時間は、分単位

②一問一答方式を選択した議員の所要時間は()書きで表示し、50分としています（質問時間は20分）。

③所要時間、開始時刻及び終了時刻は目安です。進行状況等により、前後することがあります。